

Title	会告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1976
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.47, No.4 (1976. 7) ,p.93(359)- 93(359)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19760700-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

会 告

昭和五十年年度三田史学会大会の総会において、常任委員
会一任とされた会費値上げの件について、検討の結果、諸
物価の高騰に抗し難く、一般会費を史学第四十八巻より

年間二千元（現千元）

に改訂することに決まりましたので、御報告するととも
に、よろしく御了承のほどお願いあげます。

彙 報

昭和五十年年度修士論文（国史学）

- 山岸 良二 南関東地方における弥生終末期の住居址について
遊佐 和敏 帆立貝式古墳の性格に関する若干の考察
高杉 博章 擦文文化の終焉
三宅 和朗 神代紀「一書」試論
郷道 哲章 市河文書の研究
——北信濃に於ける在地領主制の展開——
荒井 晴夫 鎌倉初期政治史の研究
——文治国地頭・総追捕使制を中心に——

徳田 秀子 紀伊国阿氏河庄における村落と農民

卒業論文（国史学専攻）

平尾 保弘 弥生時代の北九州に於ける甕棺墓の性格
家長 真理 弥生時代青銅器の製作に関する一考察

——特に「九州型」「大阪湾型」銅戈の計測値を中
心として——

- 山本 令子 貝庖丁——その効率と使用痕に関する考察——
山田 昌美 邪馬台国——狗奴国と女王国との交戦——
仲小路彩乃 記紀の史実性と日本国家の成立
中村 みさ 天皇家の太陽神神話と王権
古見 充子 百濟救援の政治目的に関する一試考
山野 真澄 神功皇后伝説の成立と女帝の本質
杉本 栄一 蘇我氏の本質と仏教受容について
水野 雄二 法隆寺再建をめぐる問題点
安達登喜枝 息長氏について
新山喜美子 古代における軍団について
細谷 恵子 藤原仲麻呂の政策
岩田美保子 大生部多事件からみた帰化人秦氏の特徴について
鷺谷 由美 市聖空也に関する一考察
佐藤由美子 土師氏の研究
渡辺 和子 玉虫厨子と七世紀の美術
北原 悦子 鉞彫について